

第3回熊本県産業廃棄物処理施設建設候補地検討会

における各委員の意見・質問等への対応について

項番	意見・質問等の概要	対 応
1	地域別の産業廃棄物の排出量や将来予測量を分析すべきだ。	資料2の1頁、「主な管理型産業廃棄物の地域別排出量及び委託最終処分量の現状と将来予測」のとおりである。
2	産業廃棄物の県外搬出及び県内搬入(広域移動)の資料を示して欲しい。	資料2の1頁、「産業廃棄物の広域移動状況」のとおりである。平成12年度の産業廃棄物の県外への搬出は196千t、県内への搬入は92千tである。
3	公共関与を行っている他県事例で、設置や運営について参考にしたい。	資料2の2頁、「他県の公共関与による産業廃棄物処理施設整備状況について」のとおりである。
4	粉じん飛散距離、臭い拡散距離はどのくらいか。	物質、気象条件、地理的条件等により飛散・拡散距離が異なるため明確なデータを示すことができない。粉じんや臭いについては、環境影響評価で詳細に調査するとともに、埋立工法を工夫する(サンドイッチ・セル方式)等して発生しないように努める。
5	候補地を選定するにあたって、学校や既存の最終処分場を考慮すべき。	学校からの距離及び既存の最終処分場からの距離を評価項目として追加した。